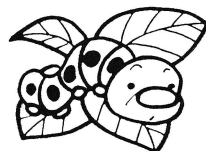




題字 林 邑一

第20号
平成8年2月20日
阿品台地区
コミュニティをすすめる会
阿品台公民館
(TEL.39-4338)
阿品台地区人口世帯数
平成8年2月1日現在
人口 男 5,086人
10,730人 女 5,644人
世帯数 3,294 世帯



「挨拶から福祉の街へ」

阿品台地区

コミュニティをすすめる会

会長 山 本 治 喜

阿品台の皆様には、お健やかに、平成八年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

皆様の御清福を寿ぎ、更なる御多幸をお祈り申し上げます。

さて、阿品台地区コミュニティをすすめる会は、昭和五十六年に地御前コミュニティ推進協議会から独立し、昭和五十八年には阿品地区からも分離し、今年で十五年目を迎えました。

爾来私どもは、「新しい町のふるさとづくり」を目標に、初めて阿品台で出会ったという「ふれあ

い」を大切にして行こう。そのために各種の行事を考え実行して参りました。組織も、広報、文化、福祉、体育、婦人、青少年及び老人の七部を設け、部員はそれぞれ各町内会から出ていただき、各部を中心に行事を進めて参りました。

今までは、ふれあいの基本である「挨拶」をしましょうと言うことで、あらゆる機会に重点事項として呼びかけて参りました。「阿品台は挨拶がよい。」と言われるようになりたいなあ。いや、必

ず徹底できるとは信じて参りました。未だ不十分ではありますが、こちらから先に挨拶すれば、挨拶が返ってくるようになりました。

外国に行きまして皆様御経験がおりと思いますが、寂しいからでしょうか、不安だからでしょうか、日本人も全く知らない同志なのに挨拶をします。勿論、外国の人は会えば必ず挨拶をします。これからも阿品台では、挨拶をコミュニティの重点事項として進めて参りたいと思いますので、ど

うか皆様「笑顔で挨拶!!」を心がけて下さるようお願い致します。

さて、これからは、挨拶から一歩進めて福祉の問題が浮上して参りました。

阿品台が誕生して十八年になりますと、ここで生れた赤ちゃんは高校を卒業して大学生になります。小学生だった子供が社会人として活躍しています。それだけお父さんお母さん、そしておじいちゃんおばあちゃんが歳を取ってきたのです。

具体的には、高齢者の比率が三%だったものが今では一%になっていきます。それも、県営住宅や県警住宅等の若い人達を入れての統計ですから、実際は一五%になっているのでしょうか。行政は必死になって福祉問題の解決に努力しておりますが、この解決には市民一人ひとりがその気にならないとできるものではないと思います。

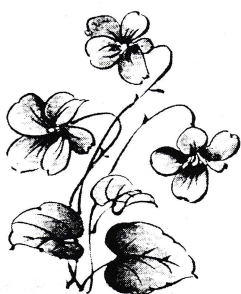
町内会では、最初、お葬式を出すときは、隣近所の協力はどうしようか、と言うようなことから始めて参りました。皆様この経験はお持ちでしょう。これを一歩進めて、高齢者の方々、いや、あなた自身が健康を害したとき、体が不自由になったとき、一人暮らしになつたとき等、困つたときにはみんな助け合い、協力しあつて行

かなければならない時代になりました。自分のことは自分でするといくら頑張ってみても、出来ないようになれば出来ないんです。自分が出来るときに、困っている人のために「何かをしてあげたい。」と言う考えでボランティア活動をしていただいている方が沢山いらつしやいます。大へんありがたいことです。

今後もどんなこの輪を拡げていただきたいと思ひます。と同時に市民全体の意識として、お互いがお互いを助け合い、協力し合う気持ちを更に深くして、実行に移さなければならないと思ひます。

新年度からは、皆様の知恵をいただきながら、「福祉の街、阿品台」の建設に努力して参ります。皆様の御協力ときたんのない御意見を賜れば幸いです。

春を迎え、皆様の御健勝と御発展を祈りつつ、御挨拶と致します。



月以降実施の行事を って報告します



町内へ繰り出した「みこし」



「ケツ庄」で風船割りは北区



大人も子供も一っしょにたのしむ
グランド・ゴルフは二丁目

各家の玄関前で「おはらいの儀」

敬老会（9月15日：阿品台公民館）



開会挨拶をする丸西福祉部長

敬老対象者 263名

出席者 126名

記念品

- | | | |
|--------|-------------------------|----|
| ・布団 | 100才をお迎えの方 | 1名 |
| ・毛布 | 90才をお迎えの方 | 4名 |
| ・湯呑セット | 米寿をお迎えの方 | 5名 |
| ・夫婦茶碗 | 初めて夫婦揃って敬老
の対象になられた方 | 8組 |



記念品贈呈



会場を埋め尽くした出席者

秋祭り（10月8日）



先づは公民館上の広場で神事を執り行う

大人も子供も一っしょになって、たのしい一日でした……



用意された席は、ほぼ満席の盛況



お礼の挨拶をする
平田文化部長

平成7年度事業で9 以下写真によ



ソフトボール大会 (11月5日：小・中学校グラウンド)

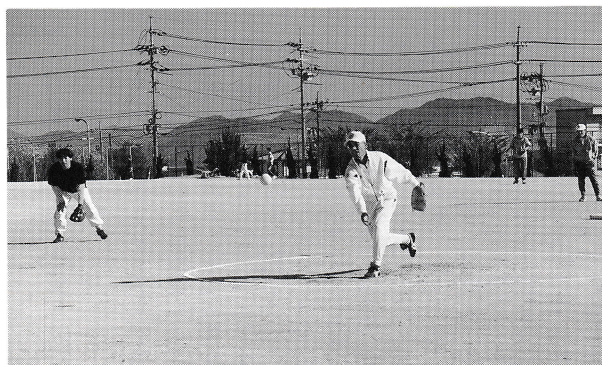
成績 優勝 タウンIチーム
準優勝 山九チーム
三位 五丁目チーム

優勝戦は、両チーム譲らず4：4で引き分け。ジャンケンによって決定した。

参加チームは14チームで、選手層が年々薄くなり、昨年度の18チームから4チーム減となった。



松井県議による始球式でプレーボール



「投げて良し」、「打って良し」まだまだ若い者には負きやあせんで…



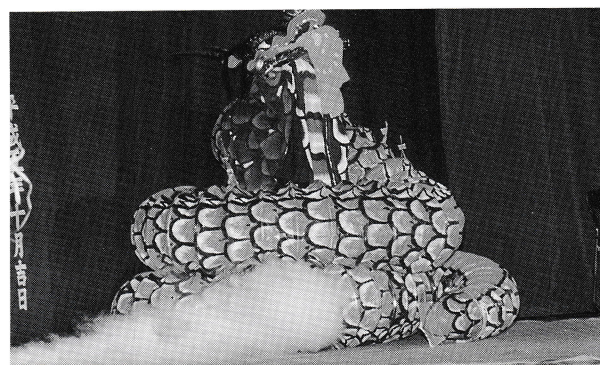
文化行事 (10月14日：東小学校体育館)

石見神楽

島根県大和村神楽同好会のみなさん

- 1 新鈴鹿山 (しんすずかやま)
- 2 八岐大蛇 (やまたのおろち)

以上二幕約2時間に及ぶ熱演



「八岐の大蛇」と子供達
面白半分、こわさ半分!!





表彰式は太田副会長



成績発表をする米村体育部長



随所で熱戦を展開

青少年親善サッカー大会 (11月11日：小・中学校グラウンド)

成績 低学年の部

優勝 タウンA～Dチーム

準優勝 五丁目上チーム

高学年の部

優勝 五丁目上Bチーム

準優勝 五丁目チーム

参加チームは、低学年、12チーム、高学年24チーム選手は総勢317名に及ぶ大盛況!!



試合上の注意を述べる浜崎青少年部長



優勝チームに御褒美

婦人部主催の美術鑑賞も、本年度で数えて六回目、平成二年から年一回実施している。昨年度までは、鑑賞券を希望者に配布して、各自が都合のよいときに、自由に鑑賞してもらっていたが、本年度は、一月二十五日に「岡本太郎展」の見学ということで、同好の志を募って広島市現代美術館（比治山公園内）での団体見学を企画し、小型バスしか配車がなくて残念であったが、三〇余名の参加者を得て共に行動し、共に語り合い、ふれあいの場をもつことができました。

岡本太郎氏（一月に亡くなられたが）先生の絵画、彫刻、モニュメントはいろんな場で紹介されており、皆さん御存知の作品も多いこととは思うが、「鯉のぼり」「時計のデザイン」等、未だ知られていない作品にも出合うことができ、あらゆる様式を突き抜け、未知の世界へ果敢に挑んできた先生の偉大なる活動力と、創造性に富んだ数々の作品を目の前にして、ただ、圧倒されるのみであった。開館当初から何かと話題の多い美術館であったが、常設館の見学もできたり、参加者は一様に満足して有意義な一日を過ごした。新年度でも、このような企画をしてみたいと思っている。多数の参加を期待しております。

美術鑑賞（岡本太郎展）雑感

婦人部長 賀谷房子



1月25日広島市現代美術館の「岡本太郎展」において参加者30名

編集後記

毎度のことながら、本紙の発行が予定どおりにできないことに腹立たしさを感じております。今回も、十二月発行を予定しておきながらこのありさま。申しわけない。本紙で紹介するにふさわしい話題、資料等があればお寄せ下さい。

(広報部)